「Society 5.0」の実現を支えるプラットフォーム

資料1

Society5.0とは、
狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、以下のような新たな経済社会をいう。

① サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、

② 地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会的課題の解決を両立し、

③ 人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会

科学技術イノベーション総合戦略2016

- システム基盤技術検討会は、総合戦略２０１６でまとめた「Society 5.0」を実現するプラットフォームの構築に向けた検討を推進。

新たな経済社会としての「Society 5.0」（超スマート社会）を実現するプラットフォーム

1）システムの高度化とシステム連携協調に向けた取組

- 総合戦略2015で定めた11のシステムの内、「高度道路交通システム」、「エネルギーバリューチェーンの最適化」及び「新たなものづくりシステム」をコアシステムとして開発し、他のシステムとの連携協調を図り、新たな価値を創出

11システム開発の着実な遂行とそのシステム間の連携協調を図ることが重要

2）新たな価値やサービスの創出の基となるデータベース構築

- 交通、エネルギー、インフラ管理など様々な分野が共通に利用できる三次元地図情報、映像情報、地球環境情報、ヒト・モノ・車情報、異業種間データ流通促進情報の5つのデータベースを整備

システム間の連携協調を促進するデータベース整備が重要

3）プラットフォームを支える基盤技術の強化

・サイバー空間に関連する基盤技術（ＡＩ、ネットワーク技術、ビックデータ解析技術等）の強化
革新的な基礎研究から社会実装までのＡＩ研究開発の推進

AI研究開発を含めた基盤技術の強化が重要

4）知的財産戦略と国際標準化の推進

- 競争領域と協調領域の見極めと、システム間の相互接続を確保するためのリファレンスモデル（参照モデル）の策定

相互接続を容易にするためのリファレンスモデルが重要

5）規制・制度改革の推進と社会的受容の醸成

- 製品・サービスの社会実装に必要なルールの整備等
- 科学技術イノベーションの進展によるＥＬＳＩ（倫理、法、社会的影響）の視点を含め、産業界、学術界を交えた包括的な研究の実施

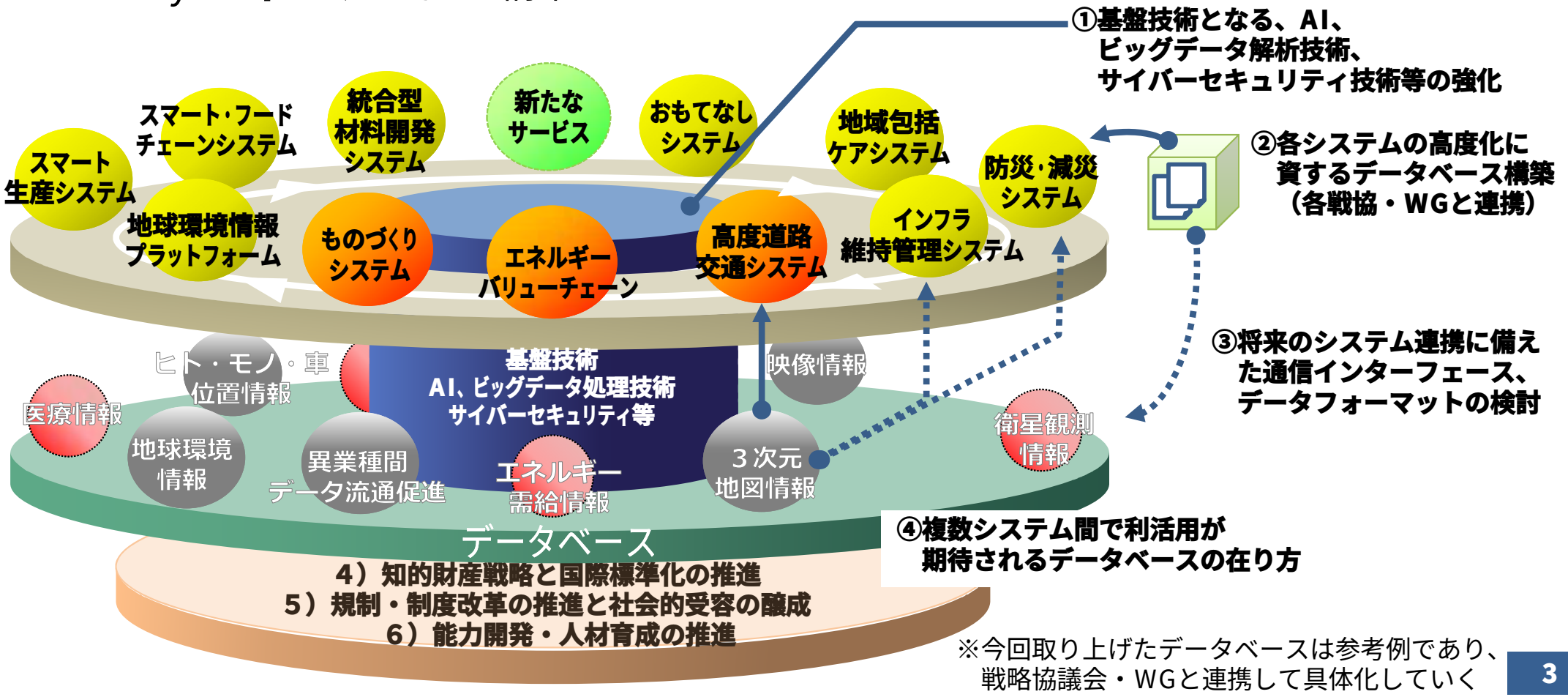
6）能力開発・人材育成の推進

- 高度化する脅威に対するサイバーセキュリティの確保として、人材育成の実施
- 先進的で高度な科学技術、理科・数学教育、情報教育等を通じた児童生徒の意欲と能力・才能の伸長

「Society 5.0」プラットフォーム構築に向けて

①基盤技術であるAI、ビッグデータ解析技術、サイバーセキュリティ技術等の強化
②各システムの高度化に資するデータベース構築（各戦協・WGと連携）
③将来のシステム間連携に備えた通信インターフェース、データフォーマットの検討
④複数のシステム間で利活用が期待されるデータベースの在り方

■「Society 5.0」プラットフォーム構築のイメージ



※今回取り上げたデータベースは参考例であり、戦略協議会・WGと連携して具体化していく